

グローバルでの学びを経験して

島貫紀子（島貫康平の母）

3年前の私たち親子はグローバルに無関心でした。しかし、模擬国連を経験したことで、貧困問題や食糧問題について家庭でも議論するようになりました。また、2年生での課題研究では自分の住む町の活性化に着目し、町のPRポイントを一緒に探したり、どうすれば若者が定住する“まちづくり”ができるか真剣に考えたりしました。このような機会から、息子が広い視野で物事を柔軟に考えられるような人間に成長したことを実感しました。

また、フィリピンの貧困家庭にホームステイした際は予期せぬトラブルがありましたが、現地の方々が本当の家族のように対応してくれたため安心することができました。“人類みな兄弟”というように国や言葉が違っても、心は繋がることができると学びました。

このグローバル教育は息子にマッチングし、思考や人間性を育んでくれました。様々な経験を通し自分に自信を持てるようになり、そして、堂々と前を向いて歩いていける人間に成長させてくれたことに感謝しています。

グローバルと出会って

1年5組 完戸 遥々花
保護者 完戸 由希子

娘が高校へ入学して1年が経ちました。当初はグローバルもSDGsも何もわからずの状態だったと思います。

グローバルの授業を最初に拝見したのは4月の授業参観で、同じグループの先輩方が1年生にアドバイスをしながら授業が進み、1年後2年後に我が子も後輩にアドバイスできる存在になるのだろうか?と思ったものです。

課題研究では「子ども食堂」について取り組み、貧困や格差だけではなく、フードロスや難民問題にも興味を持ち始めたのが、何気ない会話からでも良くわかりました。

残念ながら台湾でのグローバルサミットは実現しませんでした。英語が苦手にもかかわらずAll Englishに挑戦し、自宅で夜遅くまで英文のポスター作成をしたり、中止になってしまった3月の発表会への参加も希望していた様で、色々な事にチャレンジする姿や模擬国連で大使として交渉している姿に大変成長を感じました。この1年間だけでも、これから後輩が入学してきた時にアドバイスができる先輩に少し近づいているのではないのでしょうか。

グローカルを通して

2年5組 高橋 蒼

保護者 高橋 陽子

まず初めに私自身、子を持つ親としてお恥ずかしいですが、“グローカル”という言葉を目にしたのは娘の入学時が初めてでした。

グローカルという言葉は既に、1980年代に造語として発祥し海外戦略のポリシーとしてスタート、今やあらゆる分野で使用されているようですが、私のように全く知らなかった。という親御さんはきっとたくさんいらっしゃるだろうとも想像します。

学校でのグローカルの授業を通して、娘がもくもくと私の気づかないところで研究、調査、などを行っている姿がありました。

そしてその研究発表を聞いたとき、まずは率直に驚きました。

それは我が子だけではなく、全ての生徒達の発表のレベルが高いことに。

1つの事に対して掘り下げていくことは、ここまで知識を深めるものなのだ、と改めて実感させられました。現代を生きる人々は特に、大人になって社会生活を始めてしまうと、目の前の生活に必死、日々のニュースに目を向けていても、グローカル授業で学ぶような全ての問題は、広く浅く、知っているぐらい。というのが現状だと思っています。

このように深く学んでいくことを経験したかしないかでは、人間がきっと違ってくるでしょう。そしてこのような自分たちの生活にも直結するような問題であることに気づく事は、今後の考え方に大いに影響することでしょう。

そして何より、このグローカルという学習をしていく中で、家での会話が非常に増えたように思います。それは何より私たちにとっても嬉しかったことです。

これについてどう思う？ どうしてこうなのかな？ どういう解決策があるかな？

など、非常に大人の意見に興味を持つようになったと感じています。

グローバル化と盛んに言われ続け、結局経済優先の戦略ばかりが大いにされてきましたが、もうそんな時代は終わりを迎えるだろうと感じています。

これからはSDGsはもとより、国や人種関係なしに、人間の命や健康、自然をより大切に、人々が協力し合って助け合う、そんな優しい世界が必要であることを、この高校3年間で自覚してもらえたらと思っています。

そして私達親も、世界の問題については知らない事ばかりです。御校の教育で逆に娘に教えても

らう事が多々あります。その気づきを頂けている事も、私としては感謝しています。
様々なグローバル課題での学習は、家族みんなが相乗効果となって学びあい、話し合い、より家族の関係にもいい影響を及ぼしています。
もっとグローバル授業の時間を必須として、全校生に提供していくべきではないかとも考えます。